

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 南山す、桐原、本上
2. 山城／ルート 大山北壁・弥山尾根西陵
3. 交通手段 車
4. 行動記 <入山日 2017年2月25日>

1日目		到着	出発
S	大山寺バス停		5:20
	大山寺	5:32	5:32
	大神山神社	5:46	5:46
	元谷小屋	6:22	6:54
	大山	13:12	13:12
	大山頂上避難小屋	13:21	14:15
	六合目避難小屋	14:42	14:43
	元谷小屋	14:58	14:58
	大神山神社	15:18	15:18
	大山寺	15:25	15:25
G	第一駐車場	15:42	

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

コール（笛）の合図を事前に決めていたがあまり役に立たなかった。他パーティーが行っていた無線が有効であることを検討した。上部の緩い斜面はコンテで進んだがコンテの基本的なことがメンバー間に周知できていなかったなので練習が必要。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

元谷小屋から東陵に取り付くトレースを使用させてもらった。途中から西陵への取り付きはトレースが無かったのでトラバースしてトレースを付けて行った。通常1ピッチ目はノーザイルで登り、西陵に出たところでアンザイレンした。その頃より他のパーティーが続々上がってきたのでその後、前後して登る。

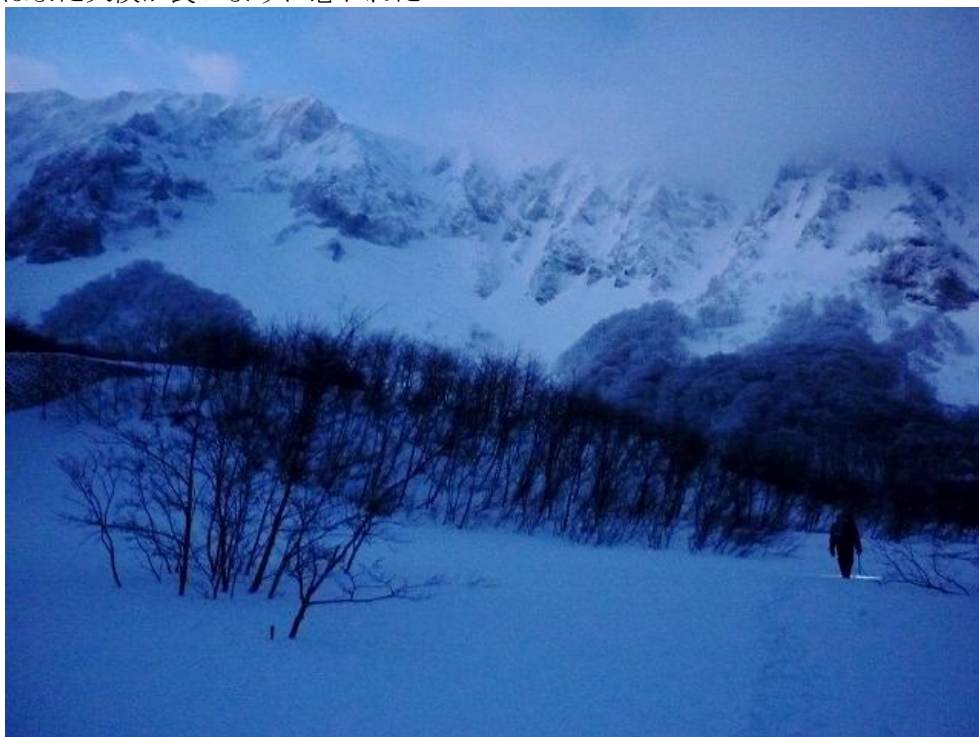
時間を稼ぐため、トップとラストを交互に担当した。2、4、6、8ピッチは桐原、3、5、7、を南山がリードした。セカンド本上のロープの付け替えはエイトノットにカラビナでビレイループにセットした。

確保はスノーバー2本に確保器をセットするのと、SABを状況によって使い分けた。表面の新雪を取り除き踏み固めるとスノーバーはよく効いた。



- ブッシュにランニングビレーをセットしていったが、安心できるようなブッシュは少ないように思った。
- 西陵に取り付いた頃より視界が 20 分程度、上部緩斜面はトレースも不明瞭で弥山稜線は強風ホワイトアウト、GPS で確認して避難小屋に着く。
- 下山はかろうじてポールが見える程度、6 合避難小屋からは尻セードで本谷に滑り降りる（ブナ林が綺麗な斜面）
- 仮眠は第一駐車場に車を停めて第二立体駐車場内にテントを張った。室内の為快適であった。

この頃はまだ天候が良いように思われた・・・





登り始めるころから天候が悪化



終始他のパーティーと相前後する



6 合目から尻セードで一気に元谷へ
ブナ林が綺麗なところ

